

第 21 回 これからの学術情報システム構築検討委員会 議事要旨

1. 日時：2018 年 8 月 20 日（月）15：00～16：30

2. 場所：学術総合センター 22 階 2208 会議室

3. 出席者：

（委員）

小山 憲司	中央大学 文学部 教授
佐藤 初美	東北大学附属図書館 情報管理課長
三角 太郎	東北大学附属図書館 情報サービス課長
米澤 誠	京都大学附属図書館 事務部長
栗谷 禎子	公立はこだて未来大学情報ライブラリー（テレビ会議）
原 修	立教大学図書館 利用支援課 課長
近藤 茂生	立命館大学図書館 学術情報部 次長
大向 一輝	国立情報学研究所 コンテンツ科学系 准教授
小野 亘	国立情報学研究所 学術基盤推進部 学術コンテンツ課長
吉田 幸苗	国立情報学研究所 学術基盤推進部 学術コンテンツ課 副課長

（欠席）

相原 雪乃	北海道大学附属図書館 事務部長
飯野 勝則	佛教大学図書館 専門員
呑海 沙織	筑波大学 図書館情報メディア系 教授
佐藤 義則	東北学院大学 文学部 教授

（陪席）

江川 和子	国立情報学研究所 学術基盤推進部 次長
-------	---------------------

（事務局）

上野 友稔	国立情報学研究所 学術基盤推進部 学術コンテンツ課 学術コンテンツ整備チーム係長(CAT/ILL 担当)
三村 千明	国立情報学研究所 学術基盤推進部 学術コンテンツ課 学術コンテンツ整備チーム係員(CAT/ILL 担当)

<配布資料>

委員名簿

- 第 20 回これからの学術情報システム構築検討委員会議事要旨
- 2-1-1. 「2020 年以降の目録所在情報システム（CAT2020）運用の新基準」の公開について
- 2-1-2. 2020 年以降の目録所在情報システム（CAT2020）の運用における新基準

2-1-3. 2020年以降の目録所在情報システム（CAT2020）の運用における新基準（用語集）

2-1-4. NACSIS-CAT/ILLの軽量化・合理化について（要点）

2-2. CAT2020関係文書の改訂スケジュール案

<参考資料>

1. 第20回これからの学術情報システム構築検討委員会議事2「NACSIS-CAT検討作業部会の活動について」のまとめ

4. 議事：

(1) 前回（第20回）委員会の議事要旨確認

メール審議を経て8/8付で確定したため、委員会内での確認は割愛した。

(2) 「2020年以降の目録所在情報システム（CAT2020）の運用における新基準」の公開について（審議）

三角NACSIS-CAT検討作業部会主査より、資料2-1-1～2-1-4について説明があり、続けて小野委員より資料2-2について説明があった。委員長より、本日の進行について、事前に集めた委員からの意見をもとに「公開文書の構成」、「公開文書の名称」、「新基準適用後の概念図」の修正、「今後の作業と公開スケジュール」の4点に絞る旨の提案があった。審議の結果、資料2-1-2～2-1-4を一つにまとめる前提で、検討経緯と今後の計画を冒頭に加え、資料2-1-2（新基準）の項番0に概要を組み込み、最後に資料2-1-3（用語集）をつけることとなった。文言等の詳細については、メールで追加意見を集めた上で、本日の審議の内容も含めて文書に反映し、改めてメール審議を実施することとなった。

審議にあたって行われた質疑・意見交換は次のとおりである。

[公開文書の構成について]

- 現行のNACSIS-CAT/ILLからの変更点が端的に分かるように、資料2-1-4（要点）、2-1-2（新基準）、2-1-3（用語集）といった順に並び変え、統合して公開してはどうか。
 - 「新基準」には基準しか記載されていない。基準が設定された背景を理解するためには、「NACSIS-CAT/ILLの軽量化・合理化について（実施方針）」を読み、さらに「NACSIS-CAT/ILLの軽量化・合理化について（実施方針）」からの変更についてを確認することが前提となる。今回の文書と一緒に「実施方針」の改訂版を公開する、または「新基準」の中に「実施方針」の最低限の内容を盛り込んだ方がよいのではないか。
 - 目録担当が業務で利用する「目録情報の基準」や「コーディングマニュアル」の改訂版は2020年度までに完成する。今回の文書は、これまでの検討の流れに沿って提示してきた各文書を踏まえた上で読んでいただく文書なので、再度「実施方針」の内容を盛り込む必要はないのではないか。
 - 各参加館からの見え方、分かりやすさが一番重要だと思う。今回の公開資料をこれまでの検討の最終的なまとめとして位置付け、検討経緯と今後の計画、「実施方針」

からの変更点を「新基準」の前につけてはどうか。考え方を整理する議論は今回の文書で完結させ、今後は各種マニュアル類の整備段階に移っていく、ということを宣言することが重要ではないか。

☆ 検討経緯と今後の計画を冒頭に追加した上で、新基準の前提として「実施方針」からの変更も含めて概要にまとめることにしたい。

- 現在の「実施方針」については、その後の「実施方針からの変更について」があり、単独では内容的に無効になる旨や、今後の「目録情報の基準」や「コーディングマニュアル」の改訂予定等も明記すべきではないか。
 - 先述の検討経緯と今後の計画に関する文章を作成する際に、資料 2-2 を前提として、説明を加えることにしたい。

[公開文書の名称について]

- 「目録情報の基準」を近く改訂できるのであれば、「新基準」という名称についても見直した方がよいのではないか。
 - 「新基準」ではなく、「NACSIS-CAT/ILLの軽量化・合理化について」という名称を生かし、最終的なまとめであることを示す文書名にしてはどうか。
 - ☆ 「NACSIS-CAT/ILLの軽量化・合理化について(最終まとめ)」を仮題として、他に案があればメール審議で議論したい。

[「新基準適用後の概念図」の修正について]

- 資料 2-1-2 の「新基準適用後の概念図」は、色の数や情報量を少なくした方が見やすくなるのではないか。
 - 詳細はメール審議で議論し、最終確定とする。

[今後の作業と公開スケジュールについて]

- 10/31(水)の図書館総合展で本委員会に関するフォーラムを開催予定である。このタイミングに合わせて文書を公開し、説明するのがよいのではないか。
 - 8 月中を目途に本日欠席の委員を含めて修正等の意見を募り、委員長、NACSIS-CAT 検討作業部会、事務局で調整の上、原案を作成し、メール審議を行った上で、10 月中旬には公開する方向で、各作業を進めたい。

[その他]

- 今回の文書は公開後、参加館からの意見を募るのか。
 - 「案」として公開し、意見を募って反映するのではなく、文書としては確定版として公開する。意見を募る場合は別途用意し、集まった意見や質問は各種マニュアル整備に反映し、加えて来年度予定している説明会等に反映することを想定している。

以上